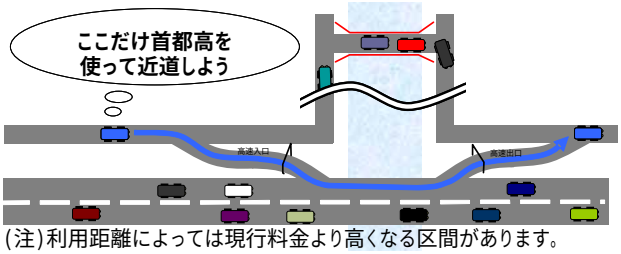
参考資料

首都高速道路株式会社の取組み

○距離別料金制への移行

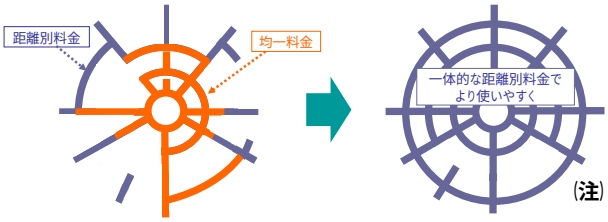
首都高速では、①利用距離に応じた合理的で公平な使いやすい料金②首都圏の料金体系を一体的に捉えた有料道路ネットワークの使いやすさ③短距離利用者の一般道から首都高への転換による渋滞緩和とそれに伴う環境改善を目指して距離別料金制へ移行します。

① 短い距離でも使いやすく



(注)利用距離によっては現行料金より高くなる区間があります。

② 首都圏の有料道路を
より使いやすく



(注) 図はイメージです。

③ 渋滞が緩和され、
環境にやさしい道路に

○安全･快適･円滑を高める渋滞対策アクションプログラムの推進

ボトルネック箇所の渋滞対策

○標識板改良

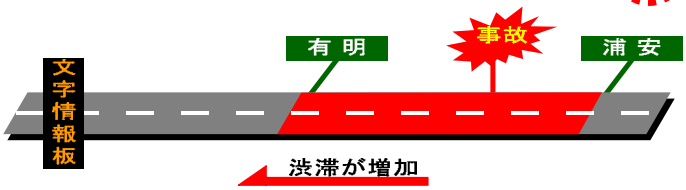
不要な車線変更の減少や車線の効率的な活用を図ります。

改良前 (左車線へ交通集中)

改良後 (中央車線を有効活用)

○文字情報板改良

LED文字情報板への更新 (平成18年度末67%、平成20年10月までに完了予定)

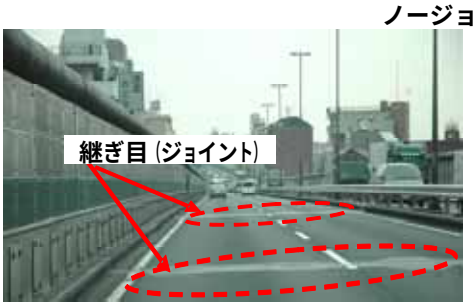


渋滞の増減をシンボルマークで表示することにより、一般道路を含めた交通の平準化を図ります。

○交通安全対策等の推進･走行快適性の向上

走行快適性の向上と走行時の騒音･振動の低減のため、路面の継ぎ目（ジョイント）を少なくするノージョイント化工事を進めます。

ノージョイント化の概要



施工前

施工後

パーキングエリアの改修を行い、駐車マスを増やします。
（高速４号新宿線上り代々木ＰＡ）

･駐車スペースの改修を行い駐車マスを増やします。
（駐車台数：改修前２２台⇒改修後４２台）
･休憩所、トイレの建替えを行いスペースを拡げ新しくします。

○良好な沿道環境の創出と地球温暖化防止への貢献

良好な沿道環境の創出と地球温暖化防止への貢献として、引き続き道路環境対策に積極的に取り組みます。

○交通流の円滑化に向けた取組み
渋滞の解消の決め手となる首都圏３環状道路の一部を形成する中央環状線及びその他のネットワークの整備を推進するほか、既存道路ネットワークの有効活用を図るためのボトルネック対策を推進します。

○沿道環境改善のための取組み
大気観測体制の充実を図るほか、高速道路の緑化を進めます。

【高速道路緑化の具体的事例】

西新宿JCT高架部･擁壁部

（完成イメージ）

大橋JCTループ部

（完成イメージ）